

CUBE SYSTEM Message

第53期 株主通信 2024年4月1日▶2025年3月31日

キューブシステムの、今とこれからをお知らせします

《VISION2026》第2次中計初年度は基盤整備に取り組み、3つの事業スタイルで事業を展開しました

プライム向け・サービス提供事業が成長するも、利益面で課題

2024年度の情報サービス産業は、事業会社のIT需要が昨年に引き続き旺盛で、IT投資が活発に行われました。こうした中、当社はプライム向け事業やサービス提供事業の拡大に加え、生産体制や研究開発への積極的な投資を実施いたしました。しかしながら、不採算案件が発生し、その対応のため思うような受注拡大ができませんでした。その結果、2024年度の連結業績は売上高が前期比1.8%増、営業利益は前期比10.1%減となりました。利益面の課題は残りますが、第2次中計の最終年度を見据えた手応えや今後の可能性も随所に芽生えた一年でもありました。



代表取締役 社長執行役員
中西 雅洋

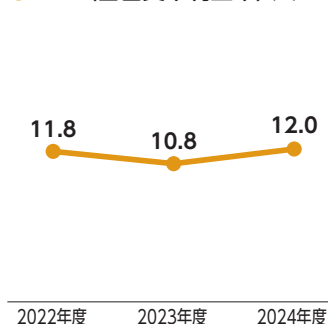
第2次中計は3つの事業スタイルを主軸に推進

中長期経営計画《VISION2026》の第2次中計初年度である2024年度は、未来への成長を描くうえでの基盤整備と並行して、3つの事業スタイルを軸に事業成長を目指しました。「Sier向け事業」ではSierとの協業関係を活かし、事業を拡大しました。中でも行政機関等のパブリック系やビジネスの基幹システムのようなミッションクリティカル系事業を伸ばせたことは大きな成果です。「プライム向け事業」では既存顧客からの新規プロジェクトの獲得に加え、新規顧客との取引も拡大しつつあります。企画型事業として立ち上げた「サービス提供事業」では、

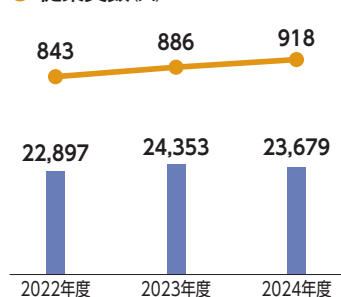
財務ハイライト

売上高(百万円)	営業利益(百万円)	経常利益(百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)
18,351 対前期比 1.8% ↑	1,380 対前期比 10.1% ↓	1,393 対前期比 12.4% ↓	1,261 対前期比 18.2% ↑

● ROE(自己資本利益率)(%)

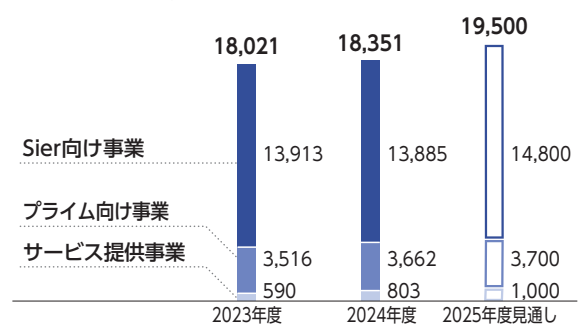


■ 1人当たり売上高(連結)* (千円) ● 従業員数(人)



* 海外子会社の従業員数を除いて算出しております。

事業スタイル別売上高(百万円)



テクノロジー分野においてOCVS Lift Service*を利用したクラウドへの移行を支援しました。また、ビジネスソリューション分野においては人的資本経営に寄与する「H・CUBiC」を構想し、現在PoC(概念実証)に取り組んでいます。どちらの分野でも事業の手応えを感じています。

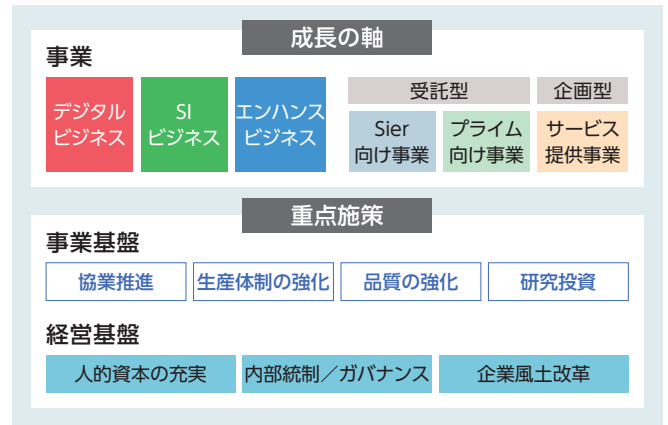
※データセンター廃止やハードウェア撤去などオンプレミスの仮想環境をパブリッククラウドに移行する当社のソリューションサービスです。

財務目標は課題の解消が必要、 非財務目標は着実に進捗

第2次中計における財務目標にて、「生産性の向上」と「高い利益率の実現」を目指しています。初年度は不採算案件への対応によって営業活動の停滞が発生し、売上高・営業利益ともに期待した成果が得られませんでした。一方で、AI技術の活用や業務効率化では、お客様との実証実験段階に入っており、今期の成長に向けた取り組みが順調に進んでいます。

非財務目標は当社のありたい企業像を掲げたものです。「ダイバーシティ促進」では、多様な人材が活躍できる環境づくりを進めています。「働き方改革」では、平均残業時間は低減傾向ですが、プロジェクトの状況によって左右されることが課題です。全社の状況を丁寧にモニタリングしたうえでコントロールし、稼働を一定の水準に抑えるための対策を検討しています。「エンゲージメント」では、働き甲斐の向上に向けて、エンゲージメント向上委員会を立ち上げ、管理職と若手社

員が一体となって施策を実施しています。「人材育成」では、第1次中計で整えたプラットフォームの活用を通じて、自主的に学ぶ風土が整いつつあると感じています。「環境」はビジネスパートナー様にも協力をいただき、サプライチェーンレベルでGHG(温室効果ガス)排出量の削減に努め、排出量削減目標を大きく上回ることでできました。



事業基盤では品質と生産体制を強化、 経営基盤では人的資本を拡充

第2次中計における事業基盤の重点施策としては、「品質の強化」と「生産体制の強化」があります。社会や技術の変化に伴い、お客様の期待が高まるとともに提供ソリューションも高度化しています。第2次中計の行動指針にある「基本に忠実に」を実行し、これまで以上に品質の高いソリューションを提供いたします。また、当社の強みである生産体制は、強化・拡大を推進しており、2023年に福岡に拠点の開設、2024年には北海道拠点の増床、ベトナム拠点の移転・拡張等を実施しました。先行投資としての研究開発では、社内開発の対話型AIアプリを活用し、業務の効率化に寄与しています。さらに経営戦略に資する取り組みとして、社員が中長期的な目線で提案したテーマを実行するMIP*を実施しています。社員提案型のMIPは、自ら考え行動する風土づくりの象徴であり、現時点で10個のテーマを展開しています。数字として現れにくい、企業の芯を鍛える活動も着実に成果を上げてきました。

経営基盤面では人的資本の充実を大きな目標にしており、人材確保の「採用」と、能力を高める「育成」を進めております。加えて、2024年4月より意欲の向上を

第2次中計の財務・非財務目標

重要経営指標 (KPI)		2025/3実績	第2次中計目標	
財務	資本効率	ROE	12.0% → 14.0%	
	生産性	一人当たり売上高	23.6百万円 → 25.0百万円	
	ビジネスモデル変革	売上高構成比率	プライム向け+1.4億円 サービス提供+2.1億円	プライム向け事業 +12億円 サービス提供事業 +5億円 ^{※1}
	成長性	売上高CAGR	-	8.5%程度
	利益指標	営業利益率	7.5%	10.5%
非財務	ダイバーシティ促進	係長級に占める女性社員比率	20.0% → 30.0%	
	働き方改革	時間外勤務時間 ^{※2}	30.4時間/月 → 25.0時間/月	
	エンゲージメント	働き甲斐を感じている社員の割合 (Wevoxスコア ^{※3})	やりがい: 61	やりがい: 71
	人材育成	1人当たり教育・研修日数	12.0MD	10.0MD
	環境	GHG排出量目標 (Scope1,2,3 ^{※4})2021年度比	Scope1,2 1,118 t-CO ₂ Scope3 3,963 t-CO ₂	Scope1,2 227 t-CO ₂ Scope3 4,004 t-CO ₂

※1 2024年3月末に対する増加額

※2 所定(7.5h)外労働時間にて算出。裁量労働適用者、管理監督者を含む全社員の平均

※3 株式会社アトラエが提供するエンゲージメント解析ツール「Wevox」を利用し、キューブシステム単体の社員を対象に調査したもの

※4 Scope3はカテゴリ1「購入した製品、サービス」が対象

目的とした新人事制度の導入に伴って処遇を改善し、離職率の低減やリーダー層の拡充、自己研鑽や研修日数の増加等、期待した成果が出ております。

※MIP Management Incentive Plan の略称で、未来創造を促すインセンティブプランです。先を見据えてチャレンジする文化ならびにエンゲージメントの醸成を目的に実施しています。

2025年度の取り組み

2025年度(第2次中計2年目)は、これまで整備してきた基盤を活かし、事業の進化・拡大へとつなげる年です。「Sier向け事業」では、Sierの需要を確実につかみ、幅広い業種業態に拡大したいと思います。「プライム向け事業」は顧客との関係強化に努めて規模を拡大するとともに、新たな顧客へのアプローチも積極的に実施いたします。「サービス提供事業」は、コンサル案件やクラウドへの移行支援等、今後も実績を積み上げて、運用サービスの幅を広げてまいります。人材配置の最適化など人的資本経営を支援するビジネスソリューション「H-CUBiC」は、サービス提供事業として、着実に成果をあげる段階に入りつつあります。今後も、より一層の成長を実現していく所存です。

2025年度は、《VISION2026》の達成、さらにはその後の飛躍的な発展に向けて、大切な一年となります。「自ら考え、変革と成長への約束を果たす」というスローガンを掲げ、社員一丸となって、企業価値を高め、株主さまのご期待に応えてまいります。

業績見通し

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度
売上高	18,351	19,500
Sier向け事業	13,885	14,800
プライム向け事業	3,662	3,700
サービス提供事業	803	1,000
営業利益	1,380	1,750
営業利益率	7.5%	9.0%



Topics

「Oracle Certification Award 2024」にて表彰

日本オラクル株式会社の「Oracle Certification Award 2024」の「Oracle Cloud Infrastructure (OCI/PaaS)認定資格」部門を受賞しました。

Oracle Certification Awardはオラクル認定資格取得者を数多く育成した企業を表彰するものです。詳細はWebサイトに掲載しております。ご覧ください。

●Webサイト

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2514104/00.pdf>

イオンスmartテクノロジー株式会社 アウトソーシングアワードにて 2年連続「顧客満足度向上大賞」を受賞

イオンスmartテクノロジー株式会社が2025年1月24日に開催した「イオンスmartテクノロジー アウトソーシングアワード」にて「顧客満足度向上大賞」を受賞しました。

イオンスmartテクノロジー株式会社のIT戦略パートナーを対象に優秀な取り組みを行った会社を表彰するものです。業務効率化やサービス向上の貢献が評価され、2年連続の受賞となりました。

●Webサイト

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/announcement1/106474/00.pdf>

生産体制拡充 ベトナムキューブシステムの移転・ 本社開発室の拡張

中長期経営ビジョン《VISION2026》の実現に向け、生産体制の増強・拡充による開発・生産能力強化のため、2024年10月にベトナムキューブシステムのオフィス移転を実施しました。また、2025年9月には本社・開発室の拡張を予定しています。



本社開発室イメージ

株主の皆さまの資産価値の向上を目指して、 配当金・株主優待の充実を図っていきます。

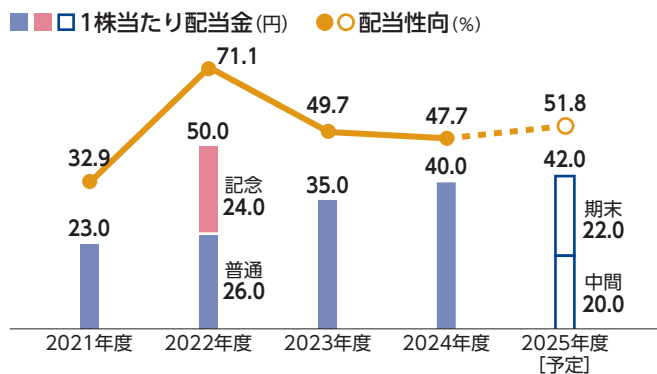
◆ 配当金

当期は、配当性向の目安を引き上げ、
1株当たり年間40円の配当とさせていただきます。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を最重要課題と認識しており、経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。また、第2次中計におきましては、株主の皆さまへのさらなる還元を目指し、連結配当性向の目安を50%としております。

2024年度の期末配当金につきましては、上記方針に基づき、1株につき20円とさせていただきます。なお、中間配当金1株当たり20円とあわせて、年間配当金は1株当たり40円となりました。

なお、2025年度の配当金につきましては、1株当たり年間42円とし、中間配当20円、期末配当22円を予定しております。



◆ 株主優待

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加促進を目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待は毎年9月末日現在の株主名簿に記録された株主さまを対象に、下記の基準でJCBギフトカードを贈呈いたします。

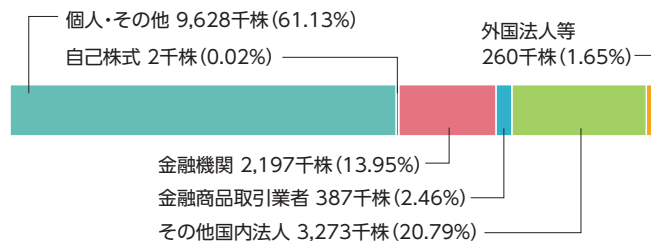


保有株式数	優待内容
200株以上400株未満	JCBギフトカード 1,000円分
400株以上1,000株未満	JCBギフトカード 2,000円分
1,000株以上	JCBギフトカード 3,000円分

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,364,000株
発行済株式の総数(自己株式2,802株を除く) 15,747,198株
株主数 10,484名

所有者別分布状況 15,750,000株(自己株式を含む)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上記基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (受付時間:平日9:00~17:00/フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(当社ホームページ https://www.cubesystem.co.jp/ に掲載。) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

● 株式に関するお手続き用紙のご請求について

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、以下のお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

TEL 0120-232-711
(受付時間:平日9:00~17:00/フリーダイヤル)

インターネットアドレス
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

CUBE SYSTEM

株式会社 キューブシステム

〒141-0032
東京都品川区大崎2丁目11番1号
大崎ウィズタワー
TEL.03-5487-6030(代)

UD FONT



株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

右記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>
2335syRe



スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの
登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で
薄層を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp